

プログラム	NEXT 産業創造	必修・選択	必修	単位	—	時期	夏期
科目群	基礎科目	科目名	起業> コモングラウンド> AI			教員名	西田豊明/加藤好雄
		(英文表記)	Entreneuership>Common ground>AI				

概要	AI 技術は今日のビジネスにおいて欠かせない要素となった。現在の AI は大きなポテンシャルを持つ一方で、不完全であることに起因するリスクも大きい。ビジネスで活用するためには、社会実装の方略を十分に練り上げる必要がある。この講義では、コモングラウンドという視点を軸にして、AI を組み込んだ事業の道を探る。			
目的・狙い	AI の基本原理とその活用方法、起業とコミュニケーションの重要性、生成 AI の実践面を理解し、それらを組み合わせることでビジネスに活用する能力を育むことを目的とする。			
前提知識 (履修条件)	演習で、Slack と ChatGPT・GPT-4 を使用する。Slack の基本操作ができるようになっていないこと。事前に、ChatGPT の登録を済ませておくこと。有料版(ChatGPT Plus, 月 20 ドル, 約 3000 円)への登録が望ましい。			
到達目標	上位到達目標			
	生成 AI を使って、コモングラウンドを軸に起業につなげる道筋が具体的にイメージできる。			
	最低到達目標			
	コモングラウンド、生成 AI、起業がどのように関わるか、理解できる。			
授業の形態	形態	実施	特徴・留意点	
	遠隔授業	8 回	基本コンセプトの講述、ワークショップによる事業化案演習、総合討論。	
	授業形式	講義 (双方向)		
		実習・演習 (個人)		
		実習・演習 (グループ)		
サテライト開講授業	—			
その他	—			
授業外の学習	生成 AI の活用法を探究する。			
授業の内容	事業化をコモングラウンド (共有された意識) の構築と発展という観点から捉える。ICT と AI でコモングラウンドプロセスを強化する手法を理解し、コミュニケーションの深淵部にも触れる。演習により ChatGPT/GPT-4 を中心とする生成 AI の実践面を学び、生成 AI を中心とした現代 AI を事業で活用する道を探る。			
授業の計画	回数	内容		
	第 1 回	コモングラウンド概念を導入し、コモングラウンドがどう構築され、発展していくか学ぶ。起業とは新しいコモングラウンドを作り、稼働させることであると考えてみることで、事業化のヒントをつかむ。		
	第 2 回	コミュニケーションをコミュニティ、協調作業、会話という観点からマクロからミクロに向かって理解し、コモングラウンド発展との関りを理解する。		
	第 3 回	ICT 技術を使ったコミュニケーション支援技術の展開を、会話レベル、協調作業レベル、コミュニティレベルの順にミクロからマクロに向かって俯瞰し、ICT の役割と AI への期待を理解する。		
	第 4 回	サービスを提供する要となる技術者に不可欠な倫理的側面について、どのような場面でどのようなことが問題になり得るか、選択がどのような帰結を招き得るか、具体例に基づいて実践的に学習する。		
	第 5 回	生成 AI に先行する現代 AI の基本手法として位置付けられる、データマイニングの基本手法、ニューラルネットワーク学習を軸にして、現代 AI の基本原理を学ぶ。		
	第 6 回	生成 AI の全体像を俯瞰し、その原理と技術を踏まえて、可能性と限界、そして社会的インパクトについて概念的に理解する。		
	第 7 回	生成 AI の演習を通じて、その可能性と限界について実践的に学ぶ。そのうえで、生成 AI を活用した事業化プランの可能性をワークショップ形式で検討する。		
	第 8 回	引き続きワークショップ形式で、生成 AI を活用した事業化プランを詳細化し、成果発表と講評を通して、理解を深める。		

教科書・教材	西田豊明. AI が会話できないのはなぜか, 晶文社, 2022.
参考図書	
成績評価	成果発表(100%)、3 回以上の欠席は認めない。なお、演習成果の発表会を 9/13 (金) SHIBUYA QWS にて予定しており、特段の事情ない限り参加を求めたい (福知山発の場合は交通費補助あり)。